

学校図書館の「当たり前」を変えていこう

～読むことに困難を持つ子たちも読書を楽しめる環境へ～

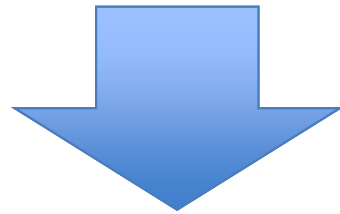


松江市立 島根小学校
井上 賞子



学びにくさのある子達への支援

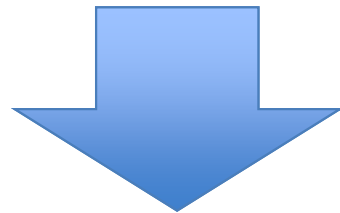
- 以前に比べれば認知されてきている
- 市販の教材の中にも、そうした視点のあるものが増えてきている



- 学校の「あたりまえ」は変わったのか？
- 彼らが「いる」ことは教育活動の前提になっているのか

学校図書館は？

- 読書バリアフリー法が成立
- すべての学校に読みに困難を持つ子がいると考えられる
- 個別の指導計画がほとんどの学校で作成されている



- 学校図書館には「紙の本」しかないのが「あたりまえ」のままではないか

読むことに困難がある子にとって の読書の大切さ

- 読むことに困難のある子ども達の学習支援に関わっていると、「読むことの苦手さ」から派生した課題を多くの場面で感じる。「すらすらと読めない」という状況は、読書の負荷を高くし、文字を通じて新しい言葉に触れる機会を圧倒的に減らしてしまう。その機会の少なさのため起こってくる語彙の獲得経験の少なさや、文章からの状況把握の難しさが、本来、問題がなかったはずの「理解」にも大きく影響してしまう子ども達もいた。

Uさん

小学3年

「読めない」と訴える

・真面目です
・友達も多い
「様子を見ま
しょう」

深刻な学習空白
無気力

中学1年

「読めない」と訴える

・がんばってます
・友達も多い
「様子を見ま
しょう」

1桁の点数も
強い疲労感

- ・わかってもらえない
- ・やってもやってもできない
- ・家では誰よりも勉強してるのに
- ・もうなにもしたくない



読むことに困難がある子にとって の読書の大切さ

- 「読むことの苦手さ」があるからこそ、より「読書」は重要だ。しかし、なかなかその環境を整えることは難しかった。「読んでもらえばわかるから読み聞かせが大好き」と言っていた子ども達も、成長とともに「誰かがいないとできない」読書に対して辛さを感じていった。

「読書がキライ」は本当か？

- 図書館に行ってもうろうろするばかりで本を手にとろうとしない子
- パラパラとめくり始めてもすぐにやめて他の本を手にとる子
- 借りた本を読まずに返す子

※もしかしたら「読めない」のかも
その子たちに適した「読書環境」は整っているのか？

「本はきれい」と言っていた支援 学級在籍のBさん

- ・ 6年生から籍を通常学級に戻し、みんなの中で学んでいる。

- ・ 4年生時点で、本を借りることはほとんどなかった子だが、5年生の頃から少しずつ読書を楽しむようになっていった。6年では、一年間を通じた貸し出し冊数が学年一であった。

日常的に本を読み、昼休みも読書の好きな子たちと教室で過ごすことが増えた。

- ・ 中学以降も彼の趣味は

「ライトノベルを読むこと」



「子どもは本が好きはず」 に追い詰められる

○全校をあげての読書活動

- おすすめ本リスト
- 読書ノート、よみーるの強要
- 読書名人の表彰

などなど

※全員が図書館の本を「読める」ことが前提なのに、読みに困難を持つ子への手立てはないままに行われている現状

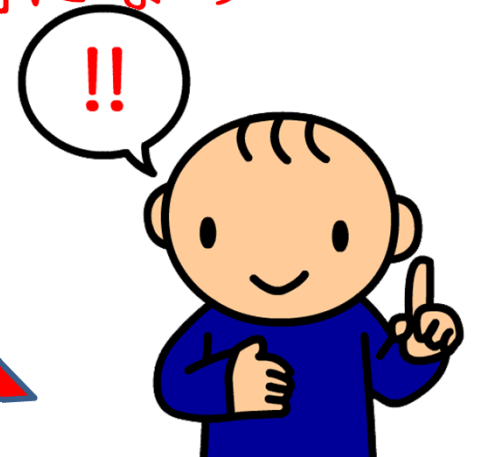
「武器」を持たせて戦いに挑もう！

- ・ 同じ方法では学びにくいとわかっているのに
- ・ 操作が苦手と分かっているのに
- ・ 同じものを用意し、同じ方法で使わせる

※そんなの「できない」を積み重ねるに決まってる

※その子「だけ」に努力を強要する時間になっていないか

方法は「武器」。学びにくさがあるからこそ、状況に応じた武器選びが大事！
使い方を伝えて送り出すことも必要！



「学校のあたりまえ」を変えたい

→学校図書館は、どの子にとっても有効な読書環境になっている？



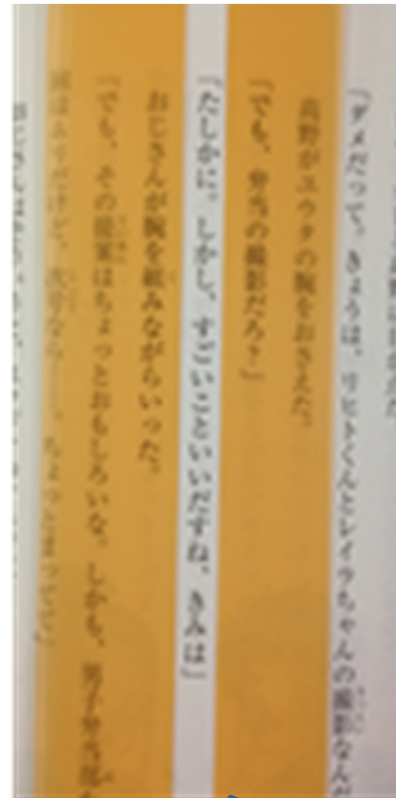
A小 図書館での取り組み

- ・ 日常の読書に「リーディングトラッカー」を活用する
- ・ わいわい文庫を導入する

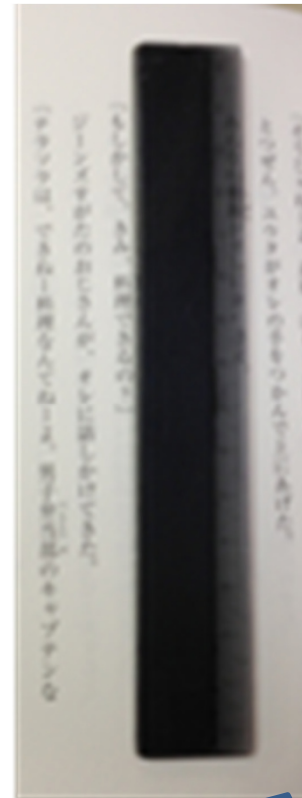
リーディングトラッカーの活用



自作のリーディングトラッカー。透明度、幅などは複数用意



使っている場面



黒定規を当てて読んでいる場面

わいわい文庫の活用

環境設定①



1台ずつ独立
した場所に3
カ所設置した

わいわい文庫の活用

環境設定②

DAISYに入っているお話の本を、
すぐ近くに設置

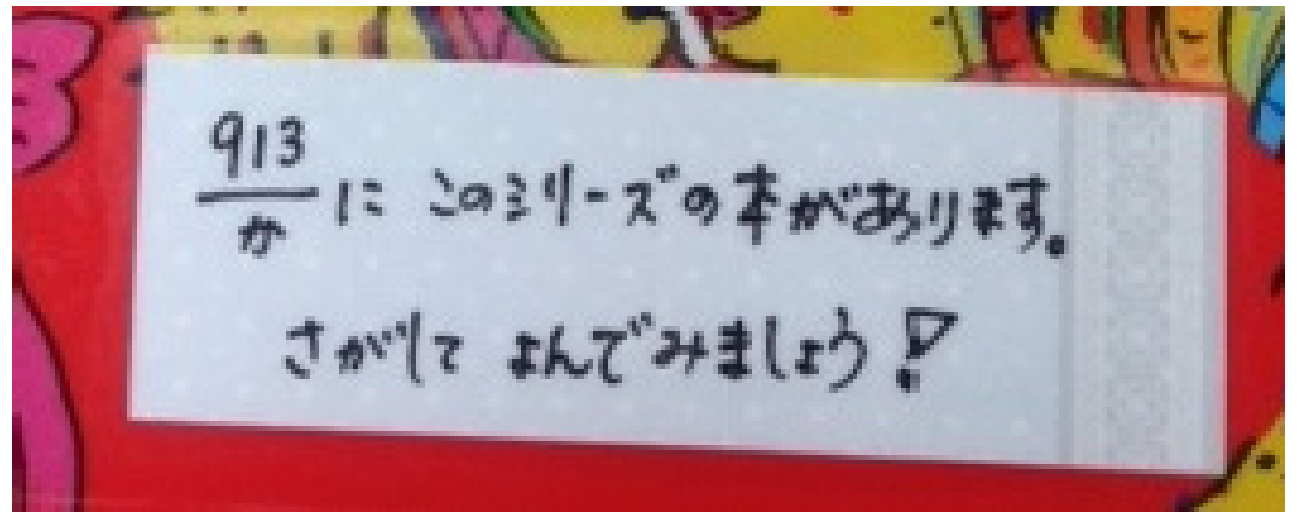
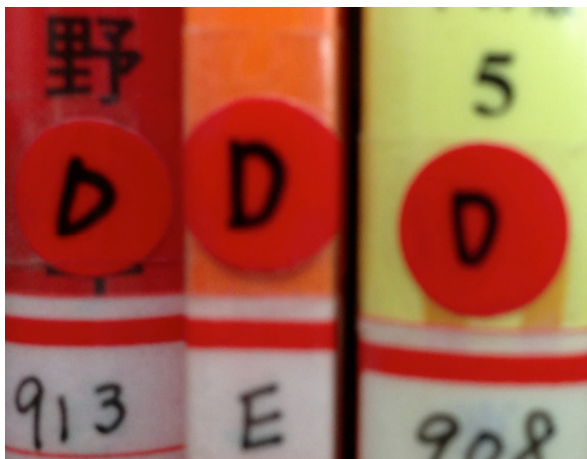
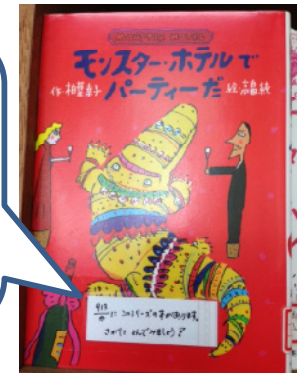


わいわい文庫の活用

環境設定③



シリーズ物は、続きを用意し、わかるように提示



共通してみられた姿

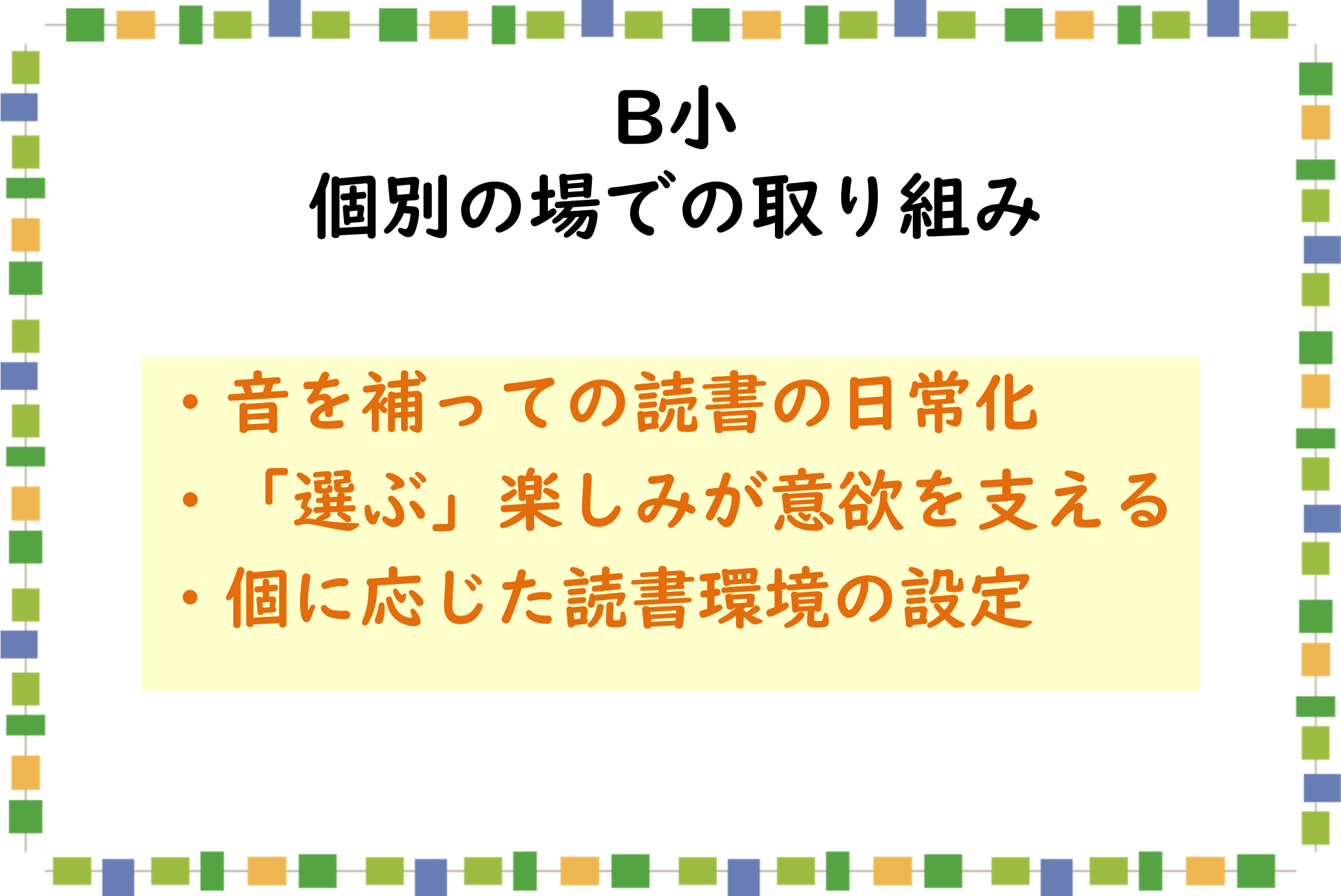
- 読み聞かせでは熱心に聞いているのに、自分からは本を読むことのなかった子ども達も、とても興味を示し、ガイドと音声を手掛かりに読み進めていく様子が見られた。
- 物珍しさで終わらず、継続して図書館に通い、続きを読むことに意欲的な様子が見られた。
- デイジーで読んだ後、書籍でもう一度読んだり、気に入ったお話はまたデイジーで読みたがるなど、読み込んで楽しんでいた。
- 「もっと読みたい」「違うお話はないか」と尋ねてきた。



しかし・・・

- 効果は感じられたし、救われた子どもたちもいたが、関わっていた職員が転勤すると、継続した取り組みにならなかった。
- 特別なものを使って、特別な手順でする読書に対してハードルを感じている子もいた。



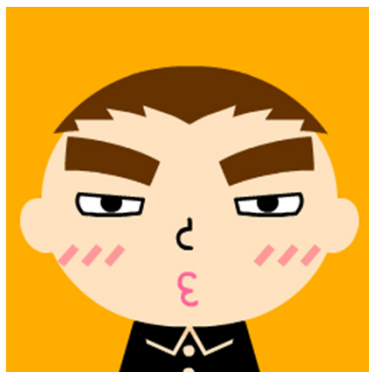


B小

個別の場での取り組み

- 音を補っての読書の日常化
- 「選ぶ」楽しみが意欲を支える
- 個に応じた読書環境の設定

発信にも受信にも消極的で
活動が継続しなかったQさん



「伝わる」「できる」の体験
を重ねて、学習や学校生活へ
安心感が持てる

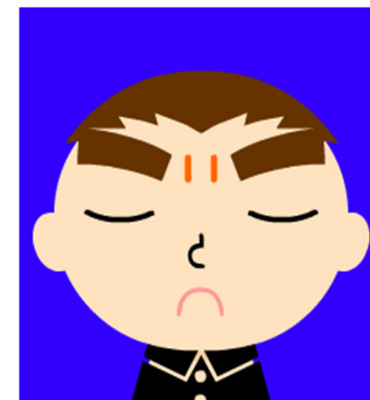
Qさんの入学時の状況

【読む】

- ・自分の名前も、判別できない。読める文字は0で入学。

【書く】

- ・自分から鉛筆を持った経験がほぼない。
- ・文字だけでなく、絵を描くこともしなかった。



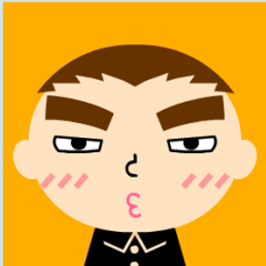

【話す】

- ・吃音と幼児音があり、早口で不明瞭。
- ・声をかけられても、反応を返さず黙って立ち去ることも多い。
- ・自分から話しかけたり、何かを求めたりすることはあまりない。

【聞く】

- ・理解言語は多いように思われたが、注意の継続が困難で多動傾向もあり、その場においても聞いていないように見える。

力をつけていった部分・課題が残った部分

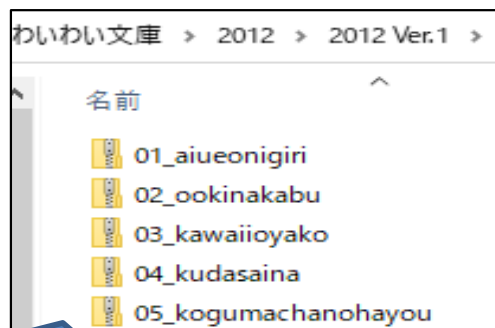
	読む	書く
	<ul style="list-style-type: none">・初見の文章でも、読めるようになった・漢字や特殊音節も、正しく読むことができる	<ul style="list-style-type: none">・ひらがな、カタカナ、学年で習う漢字は習得し、正しく使える・短い文章なら、自分で考えて書くことができる
	<ul style="list-style-type: none">・長文になると音がなると内容がイメージできにくい・語彙が少ない	<ul style="list-style-type: none">・漢字の画数が増え、文章の量も増える中で、手書きでは形が取れないことが増えている

わいわい文庫導入の準備



①ポスターには書影ごとにナンバーを打っておく
「・年のVer・の番」とわかるように

事前の準備

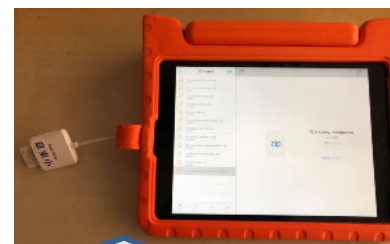


②データを圧縮し、年度とVerで階層を作ったフォルダに保存。①に合わせてデータ名にナンバーをつけておく



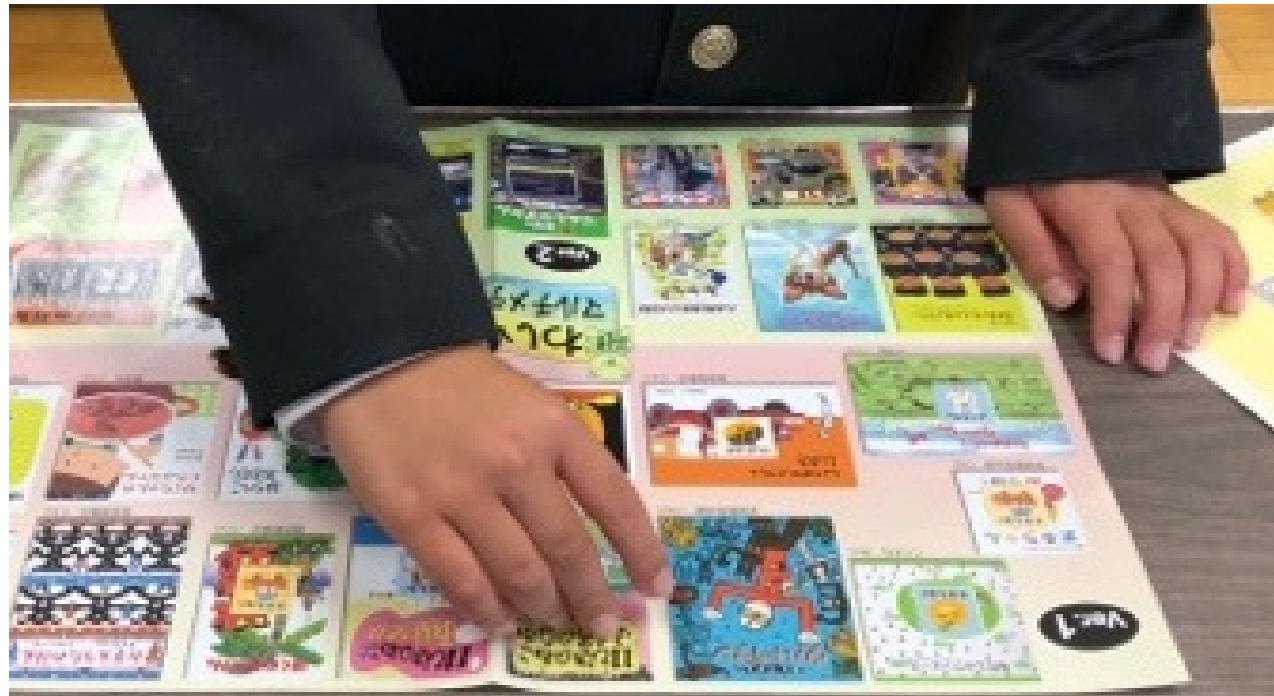
①書影ポスターが設置された専用の閲覧台から、めくって本を選ぶ

児童の操作



②SDカードからデータを読み込み、アプリで開く

言葉の塊をとらえる、 音を手掛かりにイメージを広げる



- ・ 「自分で読みたいものを選ぶ」ことで読書への意欲づけにつなげたいと考え、一覧性の高い「わいわい文庫ポスター」を使っでの提示を試みたところ、「この中ならねえ・・・」と言いながら読みたい本を選ぶ姿が見られた。
- ・ 読んだ本にシールをはって、「次はどれがいいかな」と声をかけると、「あとはねえ・・・」と考えながらポスターの画像を見比べて「これがいい!」と選ぶことができた。
- ・ 「シールが4枚になったよ!」と、振り返って喜ぶ姿も見られた。

言葉の塊をとらえる、 音を手掛かりにイメージを広げる



「絵本が読み放題！知育アプリPIBO」

- ・何百冊もある絵本から、読みたいものを選ぶことができる。
- ・音声の読み上げがあり、ハイライトはないが、自分で絵本の文字を追いながら聞くことができる。
- ・デイジーの時のように、音声を聞きながら、自分で文字を追ってかぶせ読みしていた。



1日1冊読んで、
スクリーン
ショットと一
言感想を記録



「今月のベスト3」を決めて、
簡単に記録



どれにしようかな



一番面白かったのはね・・・

こんなに
読んだよ!

5月に読んだ本

- だれができましたか？ パパとかぞく
 - どんなお話でしたか？ パパがパパとリョウリョウをつくる話
 - どこがおもしろかったですか？ リョウリョウをパパとやっているところ
 - リョウリョウが、おいしいところ？ パパがいっぱいところ
- だれができましたか？ はかせと、プー-たろう
 - どんなお話でしたか？ いたいのいたいのとんでいけのやりかたを、教えてくれる話
 - どこがおもしろかったですか？ いたいのをたべたところ
 - マジックみたいな、ところ？ いたいのが、おいしいところ
- だれができましたか？ はかせと、プー-たろう
 - どんなお話でしたか？ だんだんいたいのがつうつていく話
 - どこがおもしろかったですか？ 大きなかふみいたところ

音声図書を教科学習で活用する

☆社会科「はたらくひととわたしたちの暮らし」

いー
リーダー



「ただいまお仕事中」

- 「はたらくひととわたしたちの暮らし」の単元に入る前に視聴
- 「はたらくひと」に意識を向けることと、インタビューの仕方についてイメージを持つことを狙った。

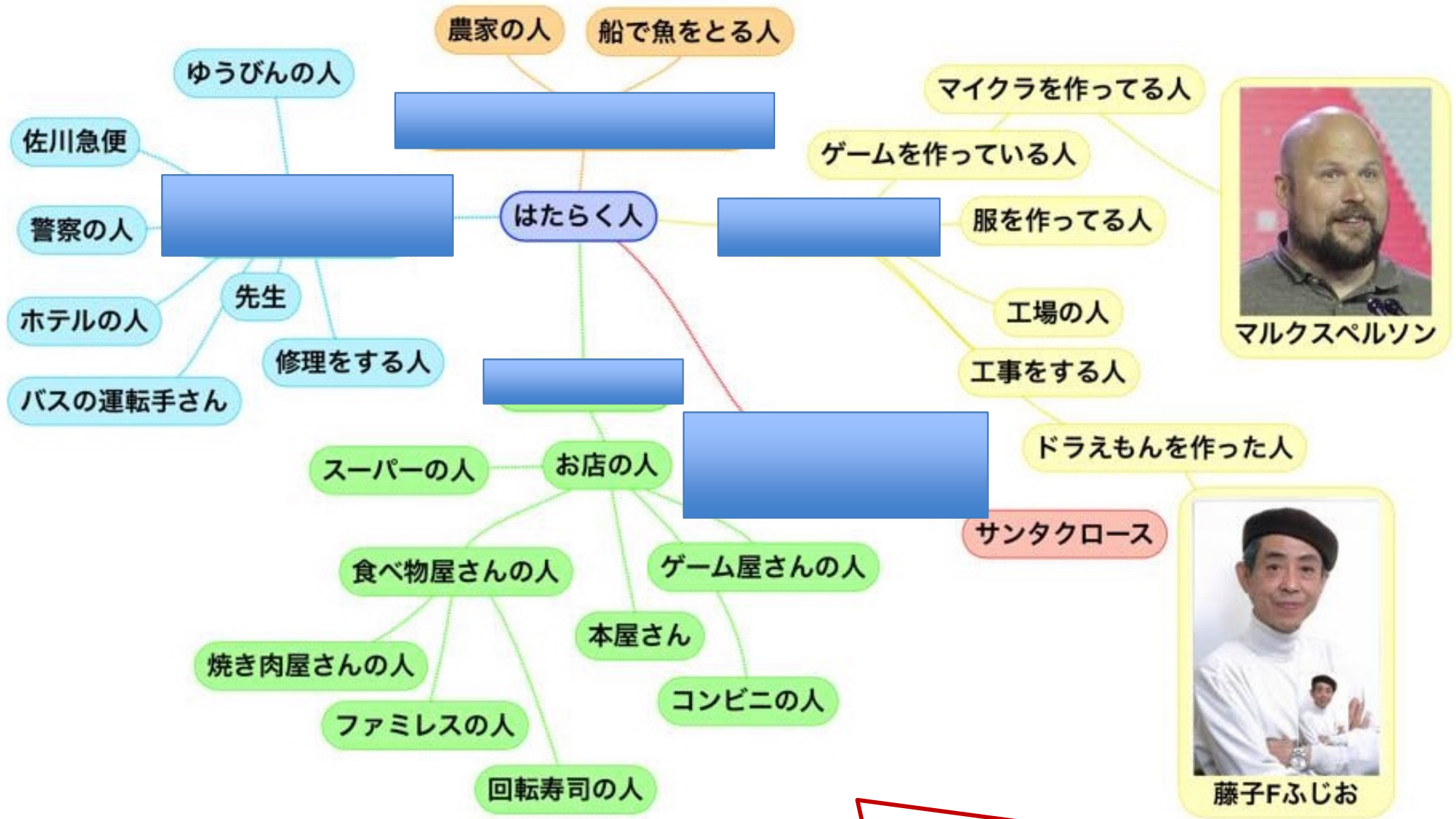
音声図書を教科学習で活用する

☆社会科「はたらくひととわたしたちの暮らし」



- 視聴する前は「Aさんはどんなお仕事を知っている?」と聞いても「わからん」と答えていたが、読後は「じゃあゲームを作るのもお仕事だね」と話すなど、イメージが持てた様子だった。
- その後に行った「はたらく人」のマインドマップの作成では、自分の身の回りのお仕事を思い浮かべながら項目を挙げ、グループに分けていくこともできた。
- その後、単元の学習の中で、干し柿農家さんやスーパーマーケットへの見学に行った際も、「質問する」具体例をたくさん読んでいたこともあり、知りたいことについてスムーズに自分から話しかけていく姿が見られた。

音声図書を教科学習で活用する



「働く人とわたしたちの暮らし」の導入で「はたらく人」についてまとめていった
マインドマップ

音声図書を教科学習で活用する

☆国語科「慣用句」

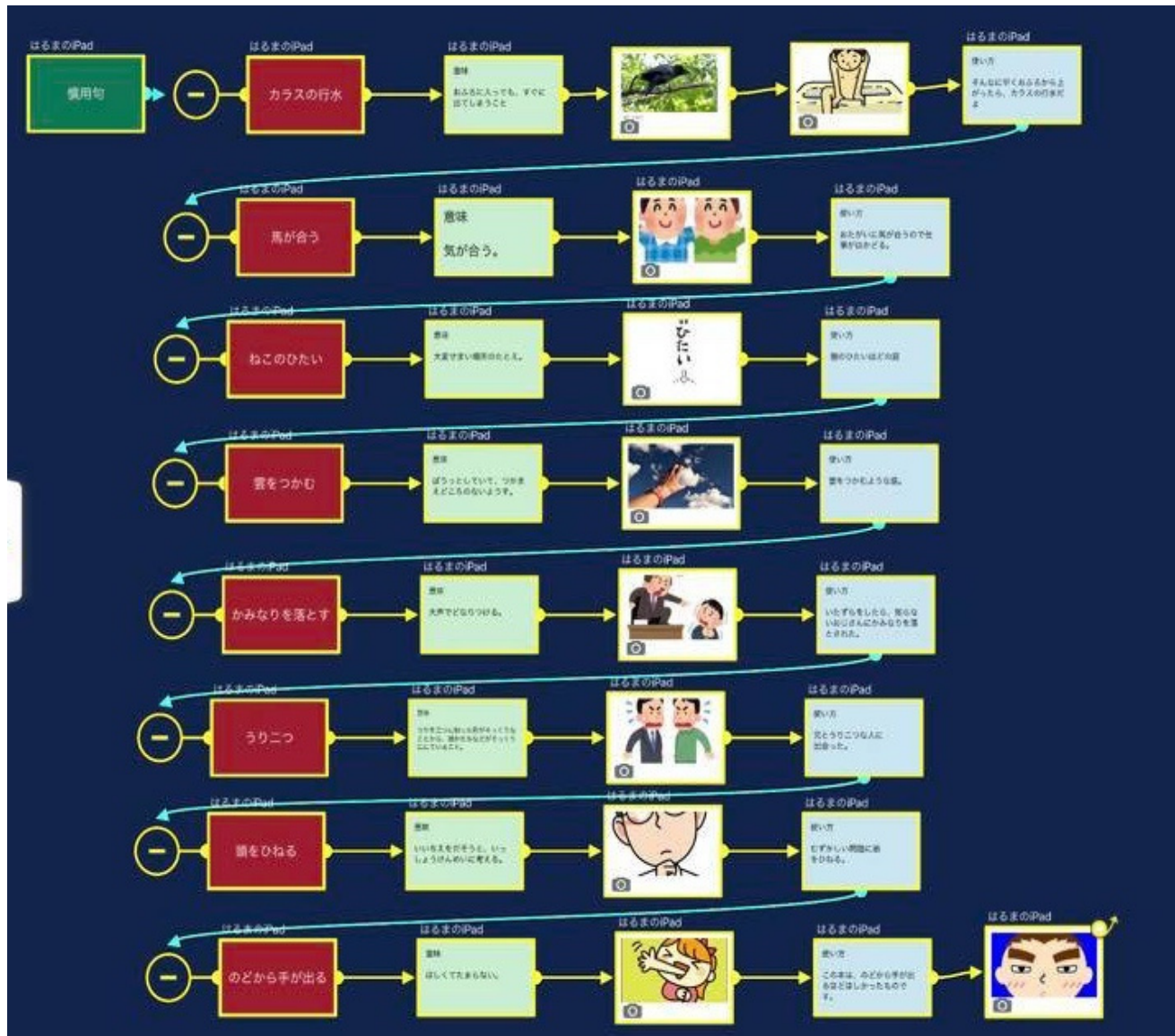


「ことわざになった野鳥」

- 「慣用句」の単元に入る前に視聴。
- いくつかの言葉が結合して、その全体で一つの意味をあらわすことについてイメージを持つことや、使い方を知って楽しむことを狙った。

音声図書を教科学習で活用する

☆国語科「慣用句」



・ロイロノートに慣用句をまとめていく際も、「写真とか絵があった方がいい」と自分から提案し、「からすの行水」については、わいわい文庫のスクリーンショットをとってスライドにまとめていた。

・教科書に出ている慣用句をまとめていく時も画像検索をして、同様にまとめていった。

音声図書を教科学習で活用する

☆外国語活動

いー
リーダー



「ABC アルファベット絵本」

- 1学期から何度か取り上げて、視聴した。
- 母国語でない英語の言葉について、「正確な音」と「イメージとしての画像」を両方の情報を補いながら読んでいくことで、英語に親しみを持ったり、語頭にくるアルファベットについて、形を意識づけていくことを狙った。

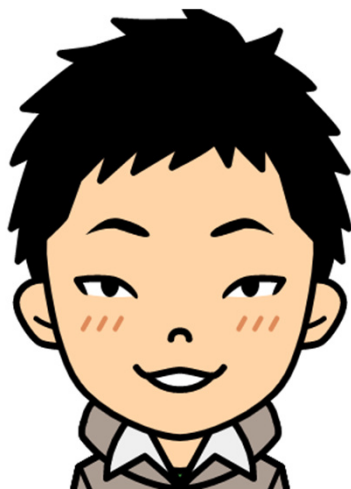
音声図書を教科学習で活用する

☆外国語活動



- 最初は復唱しようと思っても、聞きなれない音に真似ることもできずにいたが、次第に復唱できる言葉が増えていった。
- 外国語活動でのアルファベットの学習に合わせて「Aの練習をした日はAの付く言葉」を読むようにしていった。
- ゆっくりのペースで、繰り返し視聴する中で「にんじんはキャロットだよね」と話す姿も見られた語彙の広がりも見られた。

追視の困難が顕著で
ガイドを追うことも辛かったAさん



本人にあった読書環境を
整える

入学前のAさんの読み書きの状況

【読み】

- ・半年療育に通ったものの、単音もほとんど読めないまま。
- ・自分の名前は塊としては読めるが、単音を問うと読めない。
- ・語彙は豊富、大人びた言葉もよく知っている。

【書き】

- ・入学までに、なんとか名前だけ書けるようになった。
- ・名前にある文字でも、単音で問われると書けない。

※保育所時代、読み書きが全くできないのが一人だけだったこともあり、読みにも書きにも強い拒否感と劣等感がった。

【Aさんの目標】

ひらがなの読み・書きを習得すること

入学前のAさんの適応の状況

【集団参加】

- ・活動に参加できず、一人で他の場所に行ってしまったたり、すねて動かなくなってしまうことが頻繁にあった。
- ・場に応じた行動がとりにくく、突然話し始めたり、制止がきけなくなることもあった。

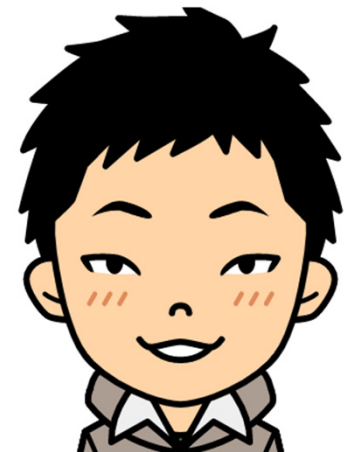
【対人関係】

- ・普段は陽気だが、かっとなるとうちや足が出てしまう。
- ・自分の思うようにルールを変えてしまったり、それを押し通そうとしたりする姿もみられた。

「自分はみんなのようにできない」という気持ちが大きく、「どうせできない」「どうせわかってもらえない」という意識が強かった。

Aさんの2年生2学期

- ・国語・図工・自立のみ、支援級で学習。他の教科は通常級の授業に一人で参加し、一斉指導を受けている。
- ・読むこと、書くことともに意欲が高く、集中して取り組める。
- ・漢字と算数については、2年生の学習内容をすでに終了して、習熟課題に取り組んでいる。
- ・業者テストでは、ほぼ9割の点数が取れる。
- ・不適応行動は見られなくなり、一斉の指示で集団活動に参加することができる。
- ・文章を読んだ理解も高いが、不注意が高く、読み飛ばし、勝手読みが顕著であり、ミスをしやすい。



特性上の苦手さはあるが、集団の中で学んでいくことに、大きな困難は見られなくなった
→3年生から通常学級へ

みんなと同じ方法での学習からスタートしていたら・・・



「みんなができることができない」をより強く感じて、取り組めなくなっていたのではないか？

- ・ 教室の後ろで寝転ぶ
- ・ 離席、飛び出し



「できないから特別な対応を・・・」となると

- ・ さらなる自信の喪失
- ・ 時間や学習機会の損失

Pさんに合った学び方からスタートしたことで



「できる」「わかる」を実感しながらの学習

- ・ 意欲の保証
- ・ 学力がついていくことへの自信



学習、適応ともに安定し、「みんなの中で学べる」姿へとつながった

ここまでのICTの果たした役割

- 常に「音」の情報を持ちながら学習していくことができた。

→文字と音の一致が効率的に促された

- 間違いを見られることのストレスがないため、安心して繰り返して学習することができた。

→定着へつながった

特別支援学級

通常級

一年

学習と生活のほとんど

体育・
音楽

二年

国語・図工
・自立

多くの学習と生活

三年

国語の
一部

学習と生活のほとんど

四年

困
った
時



学習と生活のほぼすべて

五年

代替
えス
キル

学習と生活のほぼすべて

力をつけていった部分・課題が残った部分

	読む	書く
	<ul style="list-style-type: none">・短ければれば、初見の文章でも、読めるようになった	<ul style="list-style-type: none">・ひらがな、カタカナ、は習得し、正しく使える・短い文章なら、自分で考えて書くことができる
	<ul style="list-style-type: none">・長文になると音がなると内容がイメージできにくい・頻繁に読み間違える・どこを読んでいるかわからなくなる・過度に疲れる	<ul style="list-style-type: none">・漢字はお手本を見ながらも間違えることがある・書くのに過度に時間がかかる・自分の書いた文字を後で読み返すことが難しい

中学年の頃

- 困難の大きな部分には代替え手段が使えるように体験を積み重ねてきたが、中学年の時点では、その必要性を本人があまり自覚していなかった。

得意じゃないけど、読めるし書けるから大丈夫



高学年になって

・ 5年生になり、読み・書きともに情報量が増えると、一斉指導に参加することが少しずつ難しくなっていた。読むこと書くことへの拒否感も強くなり、代替えの必然が顕著になってきたため、2学期から週1時間の個別指導を行った

みんなみたいにすらすら読めないしわからない。書くのはもっと嫌



音の補い

- 学習者用デジタル教科書の導入
→国語と社会で導入
→個別の場で操作方法を練習し、教室で活用
- OCR機能を使って音声化

四隅を固定できるようにした透明な板。
本の厚みに合わせて調整できるので、厚い本でも平らに開いて固定できる。



片手で端末を保持して撮影することが難しい子のための端末を置く台。置くだけで机と並行になるので画像がゆがみにくい

読書への取り組み

事前の状況と当初の介入

読む場面を嫌い、自分から読もうとしない。
音読はできるが読みとばしや勝手読みも多い
ため、不注意が高く、文字をうまく追えない
ため、読むことが困難

になっているのではないかと
思われた。デイジー教科書や
デイジー図書の提案は早くから



していたが、進んで手に取ることはなかった

読書への取り組み

方針の修正

- ・読書への拒否感も強くなっていたため「読みやすい表示」を模索したが、「文字を追っていく」ことの負担感は軽減しない様子だった。
- ・オーディオブックを試行したところ、「これだとしんどくない」と初めて肯定的な感想が帰ってきた



音の補い オーディオブックの導入

オーディオブックの導入

・初めて読んだのは、学級で行っていた「読書ビンゴ」のリストにあった宮沢賢治の「よだかの星」だった。一読で内容をつかむことができ、満足げな様子だった



音の補い オーディオブックの導入

読書へ対する姿勢の変化

音の情報があれば理解できる

+文字
目で追いながら

音だけ

疲れる
続けられない

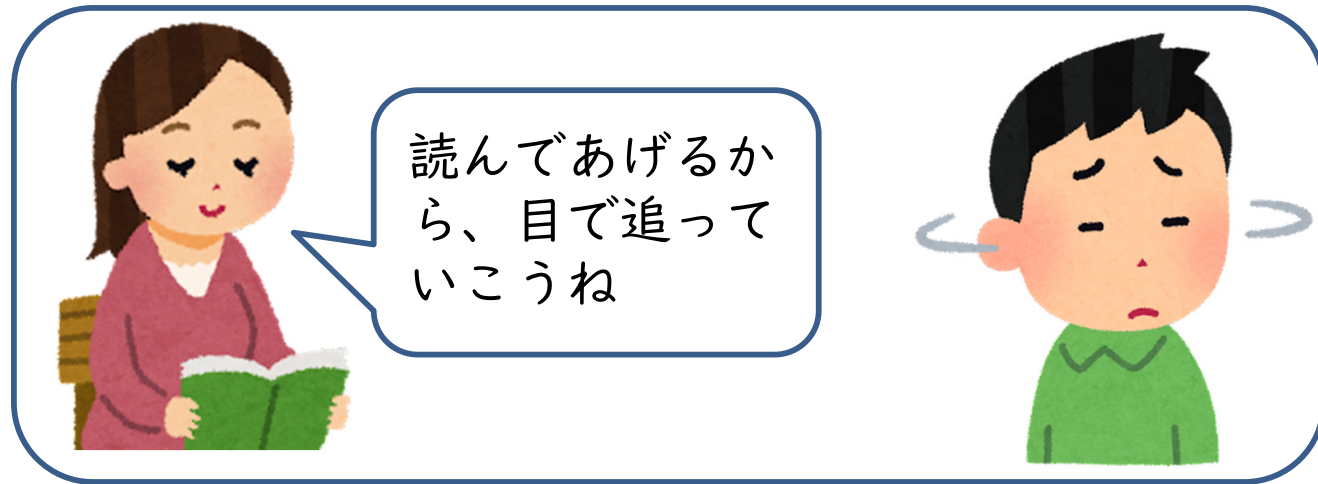


これなら続
けられる
楽しい



音の補い オーディオブックの導入

読書へ対する姿勢の変化



音の補いがあっても、目で追っていくことがつらいと理解されてから



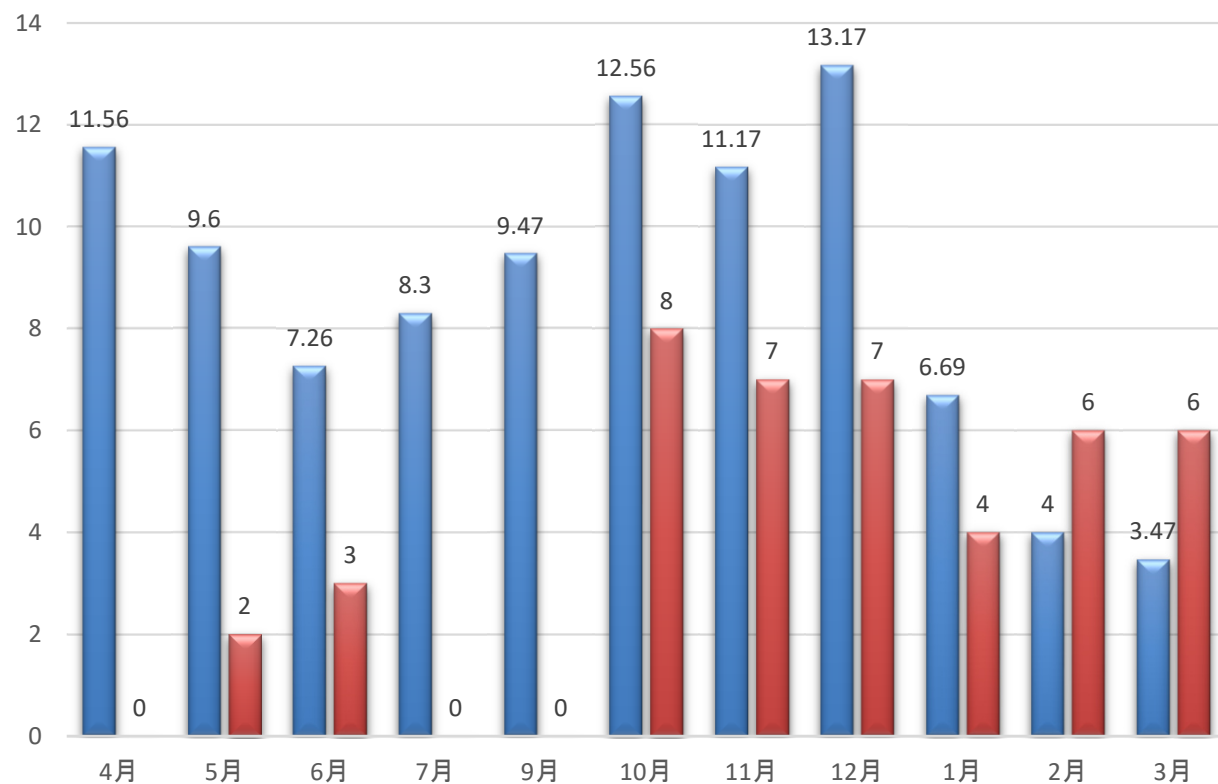
音の補い オーディオブックの導入

「読みたい本」を読むへ

- ・ 11月の終わりにオーディオブックのリストを見ながら「読みたい本」を探していたところ、「ハリーポッターは無理?」と呟いた
- ・ ハリーポッターは500ページ近い長編で、小学校の図書館の読み物の中でも最も分厚い部類の書籍であり、これまでの状況であれば、手に取ることもなかっただろうと思われた
- ・ 13時間弱になる長編だが1月かけて読みきり、続巻を読み進め、卒業までに6巻まで読み切った

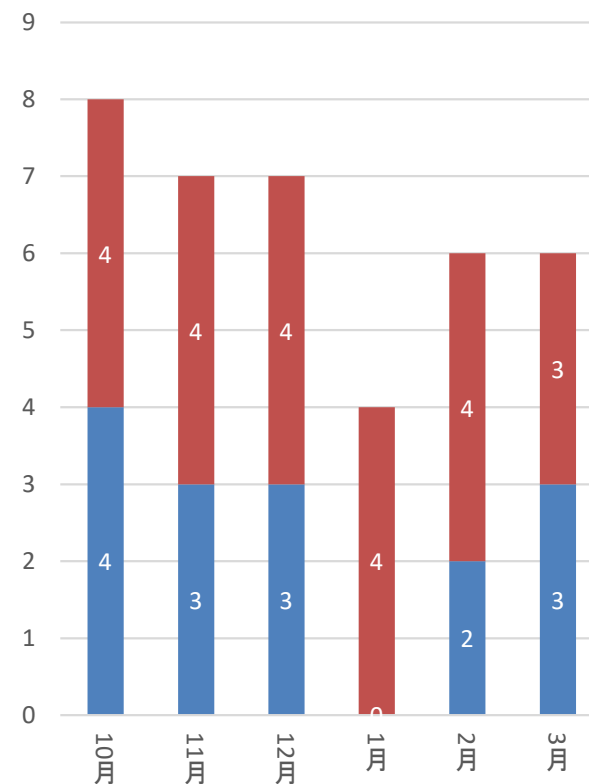


貸出冊数の推移



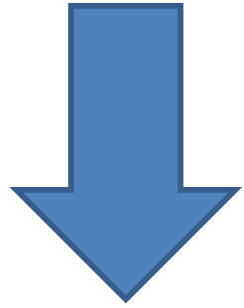
- 同学年の平均貸出冊数
- 対象児の貸出冊数

対象児の貸出内訳



- オーディオブック
- 紙の図書

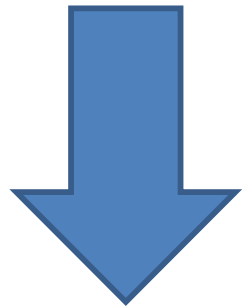
「読書」が成立しない状況



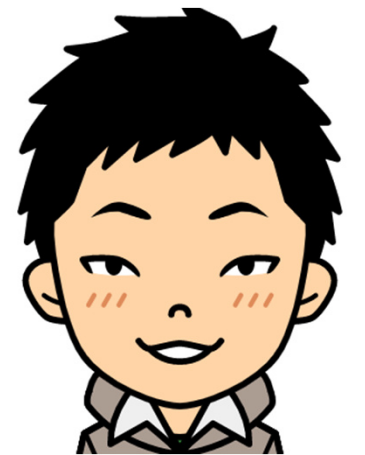
- ・ 追視の困難、不注意、デコーディングの困難等が疑われる
- ・ 「音の支援」のある読書環境へ



音とガイドの支援のある わいわい文庫の導入



- ・ 日常的な読書は成立しなかった
- ・ ガイドがあっても追視が過度の負担になっていることが判明



オーディオブックの導入

- ・ 「読みたいものを読んで楽しむ」ことが日常に

B小での取り組みのまとめ

「読むことに困難がある子」も活用できる
インクルーシブな学校図書館を目指して



松江市立 意東小学校

パナソニック教育財団 2019年度 実践研究助成 優秀賞

パナソニック



リーフレット



しかし・・・

- 効果は感じられたし、新しい手応えもあった。
- QさんAさん個人の読書は、その後も日常的に続いている。
- しかし、ここで整備した環境での取り組みは広がっていかなかった。
- オーディブルの書籍は高額で、予算の裏付けなしには整備が厳しかった



A小でもB小でも取り組みが継続し なかったのはなぜだろう？

- 再生端末の準備や、そこへのアクセスの準備が大変な上、個人任せになっていた。
- 気軽に自分のペースで本を選べる環境になっていなかった(予算も端末も)
- 多様な読書のありようやそのための方法の必要性について、啓発が十分でなかった。

音の支援のある読書環境を目指して

- 「選ぶ」楽しみが持てて
- アクセスがスムーズで(予算も端末も)
- 読書記録としても残って
- 紙の本と同じ評価が受けられる

色々やってみたけど、
なかなか難しい・・・
難しいと継続しない・・・



音の支援のある読書環境を目指して

- わいわい文庫が国会図書館に!
- 学校図書館経由で個人の端末に貸し出せる!
- オーディブルも豊富にある

これなら行けるかも!!





C小

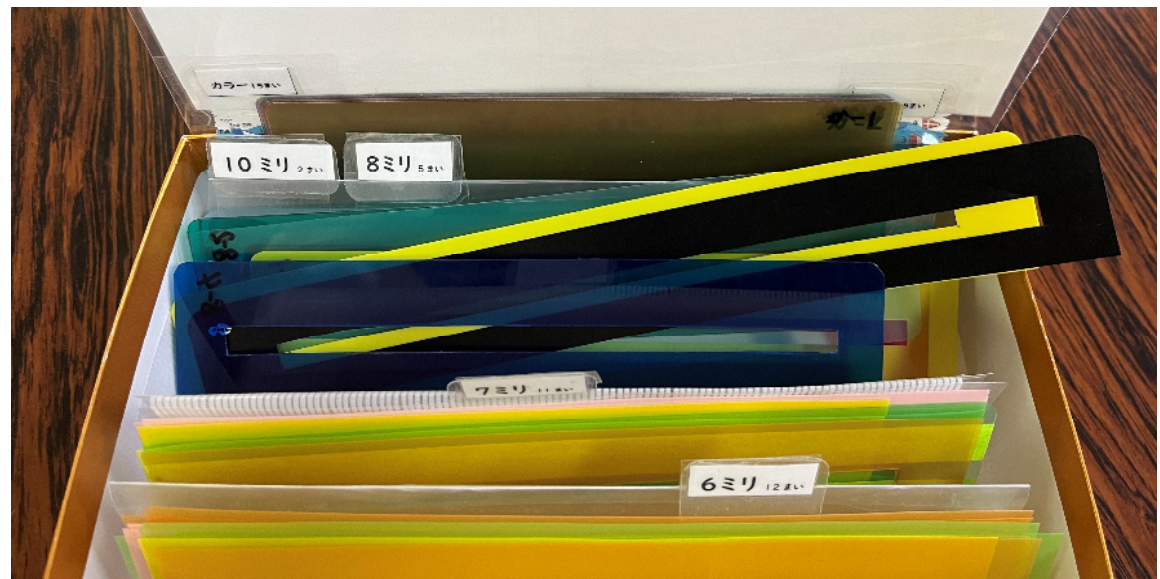
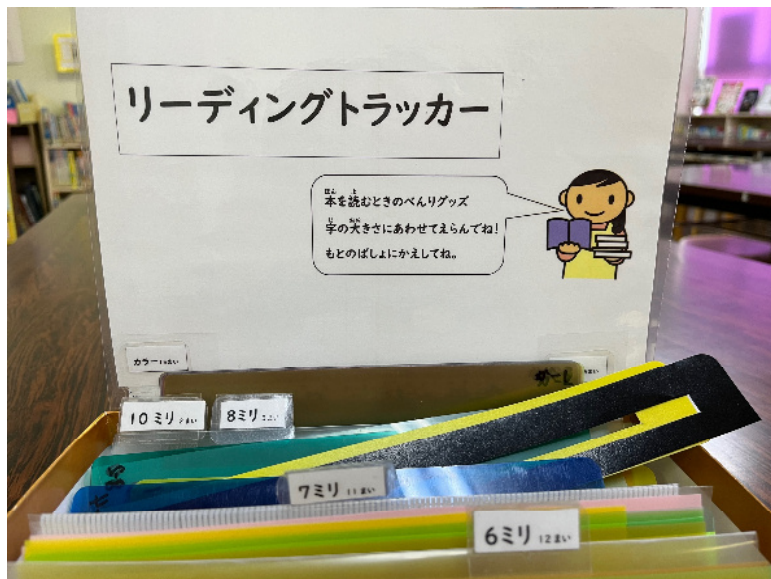
図書館と連携し、一人一台端末を活用しての取り組み

- ・ 図書館を経由して個人の端末への貸し出しを行う
- ・ アクセスのしやすさが日常化を支える

C小学校図書館での読書バリアフリーへの取り組み

- リーディングトラッカーの貸し出し
- わかりやすいイラスト付きニュース(ドロップニュース)のループ再生展示
- マルチメディアデイジー図書の子どもの個人端末への貸し出し

リーディングトラッカー



ドロップニュース

平日に毎日届く、
イラストとルビ付きの
わかりやすいニュース



マルチメディアダイジェー図書の 貸し出し

- 国立国会図書館に視聴障害等用のデータ送信承認を申請
- 児童へデータを送信するためにChattyBooks オンラインサービスでアカウントを作成

- 国会図書館のデータベースから、児童から希望のあった本のデータをダウンロード
- ChattyBooks オンラインサービスにアップロード
- 読み終わった児童のカード提出を受けて、貸し出しを登録

音の支援のある読書環境を目指して

スタート時

○図書館の準備

- ・ 学校図書館を「承認館」にするための申請
- ・ ChattyBooks のアカウント作成

○児童側の準備

- ・ 読みたい本を選ぶための書影ポスターの用意
- ・ 対象児童の端末にChattyBooks のアプリをダウンロードし、アカウント情報を入力しておく

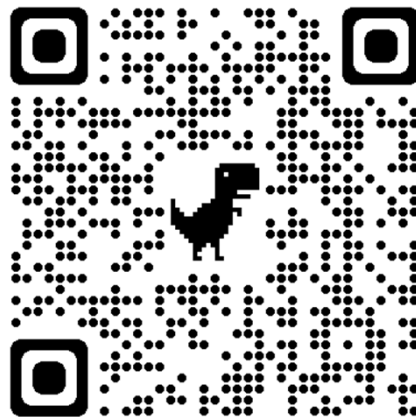
申請に関して

必要書類

- ①視覚障害等用のデータ送信承認申請書
- ②設置根拠を明記した文書
- ③図書館の活動状況がわかる資料

① 視覚障害等用のデータ 送信承認申請書

- 国会図書館のホームページにある「視覚障害者等用データ送信サービス（図書館等向け案内）」のページから様式をダウンロードして記入



国立国会図書館長 殿

年 月 日

機関の名称

代表者の役職・氏名

視覚障害者等用データの送信承認申請書

次のとおり、国立国会図書館視覚障害者等用資料送信及び貸出規則（平成 25 年国立国会図書館規則第 6 号）第 9 条第 2 項の規定により、視覚障害者等用データ送信サービスを通じて視覚障害者等用データの送信を受けることができる図書館等としての承認を申請します。

なお、送信を受けたデータの利用に当たっては、国立国会図書館視覚障害者等用資料送信及び貸出規則の規定を遵守いたします。

機関の名称（フリガナ）	
機関の名称	
郵便番号	
住所	
連絡先部署及び 担当者氏名	
電話番号	
FAX 番号	
電子メールアドレス	
機関の種類	（いずれかの番号に○を付けてください。） 1. 都道府県立図書館 2. 政令指定都市立図書館 3. 市区町村立図書館 4. 大学図書館 5. 点字図書館 6. 学校図書館 7. その他（ ）
添付書類	・設置根拠に係る資料 ・利用規則類 ・視覚障害者等へのサービス状況が分かる資料 ・指定管理者により管理されている機関の場合、指定管理契約に係る事項（指定管理者名及び指定期間等）を示す資料

②設置根拠を明記した文書

- 学校図書館の場合、学校設置条例など
- 安来市の場合は「安来市立学校設置条例」がインターネットに公開されているので、それを提出

③図書館の活動状況がわかる資料

このサービスは、著作権法で対象が定められたものであるため、以下の点について確認できる資料が必要

- 視覚障害者等=視覚障害その他の理由で通常の活字の印刷物の読書が困難な方(プリントディスプレイのある方)へのサービスを実施する旨が明記されていること
- 視覚障害者等であるかどうかを適切に判別し、該当しない方にはデータを利用されないような仕組みが整っていること

③図書館の活動状況がわかる資料

C小学校が申請の際に提出したもの

- 特別支援教育コーディネーターが、本校の特別支援教育対象児童の状況と対象児童として個別の指導計画を作成するまでのプロセスと、その中に複数いる紙の本では読書が難しい複数の子どもたちに対して、このサービスをどんな場面でどんなふうに活用したい旨を記した書類を作成
- 特別支援学級の学級だより数枚(名前や写真などの個人情報隠してコピーする)

申請してから

- ・書類に不備がなければ約一カ月で承認される
- ・承認されると書類が届く
- ・ログインIDやパスワードが届くので、その日から利用できる

貸し出しの実際

貸し出しの手順 ～C小バージョン～

あくまでC小学校の状況での活用手順です。
学校毎に係わり方が違うと思うので参考に
していただければと思います。

貸し出しのシステム

従来の貸し出し



貸し出し



読書



返却



登録

貸し出しのシステム

端末への
貸し出し



国会図書館から
ダウンロード
し、学校のアカ
ウントへアップ



登録

学校図書館からの貸し出
しとしてカウントされる

わいわい文庫
<input type="text"/>
がよみたいです
月 日
名前 <input type="text"/>

貸し出し



読書

わいわい文庫
<input type="text"/>
を、よみました
月 日
名前 <input type="text"/>

返却



貸し出しのシステム

読みたい本を選ぶ



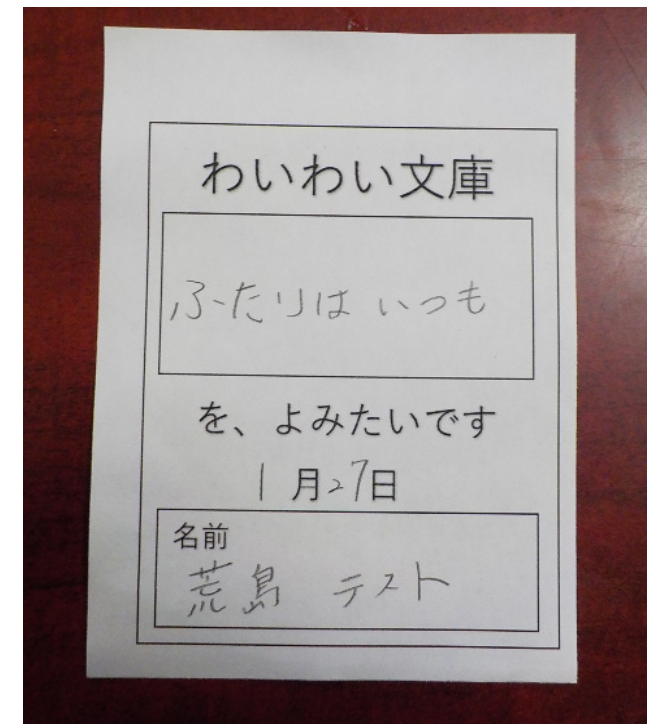
従来の貸し出し



端末への貸し出し

「よみたいですカード」を受け取る

- 子どもたちは、わいわい文庫の書影ポスターを見て読みたい本が決まったら、「よみたいですカード」を図書館に提出します
- 書けない子の場合は、司書や教諭が代筆します



国立国会図書館サーチへ アクセスしてデータを取得する

<https://iss.ndl.go.jp> ▼

国立国会図書館サーチ (NDL Search)

「国立国会図書館サーチ」は、国立国会図書館をはじめ、全国の公共・大学・専門図書館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索 ...



The screenshot shows the NDL Search homepage. At the top, there is a dark blue header with the NDL logo and the text "国立国会図書館サーチ". Below the header, there are three tabs: "簡易検索" (Simple Search), "詳細検索" (Advanced Search), and "障害者向け資料検索" (Search for materials for people with disabilities). The "簡易検索" tab is selected. Below the tabs, there is a search bar with the placeholder text "キーワード" and a "検索" (Search) button. To the right of the search bar, there are options for "翻訳検索しない" (Do not search in translated) and "すべての連携先を検索する" (Search all linked sources). Below the search bar, there are several buttons for different content types: "すべて" (All), "本" (Books), "記事・論文" (Articles/Papers), "新聞" (Newspapers), "児童書" (Children's books), "レファレンス情報" (Reference information), "デジタル資料" (Digital materials), "その他" (Others), and "立法情報" (Legislative information). Below the search bar, there is a section titled "国立国会図書館サーチ" with a brief description of the service. To the right of this section, there is a "図書館からのお知らせ" (Library notices) section with an RSS icon and a list of notices. The notices include: "徳島大学附属図書館貴重資料高精細デジタルアーカイブ" (Takushima University Library Rare Materials High-Resolution Digital Archive), "京の記憶アーカイブ" (Kyoto Memory Archive), "ゆにかねっこのデータ提供館追加・一部遷移方式改善のお知らせ" (Yunikane's Data Provision Library Addition/Partial Migration Method Improvement Notice), and "国立国会図書館サーチのセキュリティ対策について" (About NDL Search Security Measures). Below the notices, there is a link "すべてのお知らせを見る" (View all notices). At the bottom of the page, there is a Twitter icon.



ChattyBooks オンラインにデータをアップロードする

ログイン

E-Mailアドレスまたはデジ教
科書利用者ID

パスワード

ログイン情報を記憶する

[ログイン](#) [パスワードをお忘れですか？](#)

[本棚 / 新しい本をアップロードする](#)

本棚

 **くらやみのゾウ**
2022/10/18 14:41まで



サイズが大きい（100MBを超える）ファイルは失敗する可能性があります。
『アップロード中』が長く続く場合、本棚に入っていることがあります。

新しい本をアップロードする

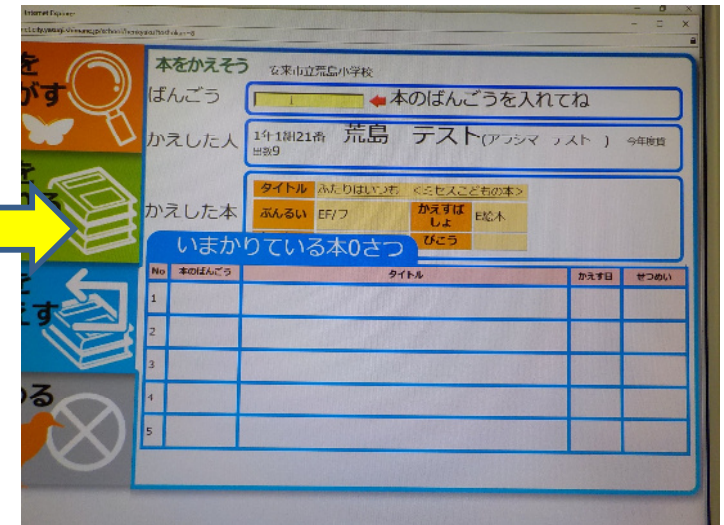
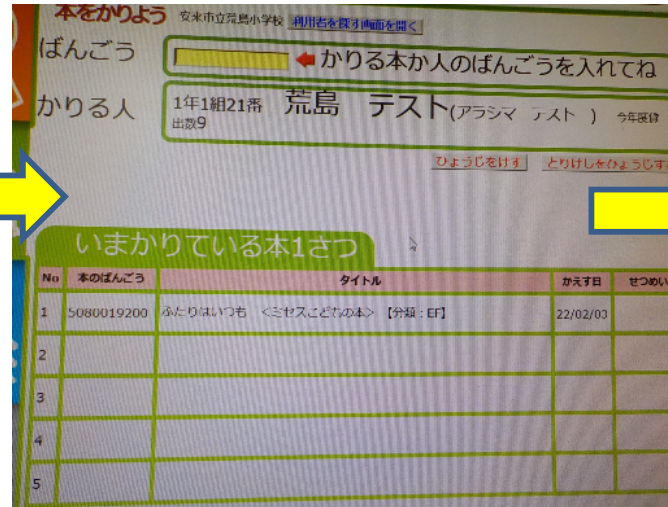
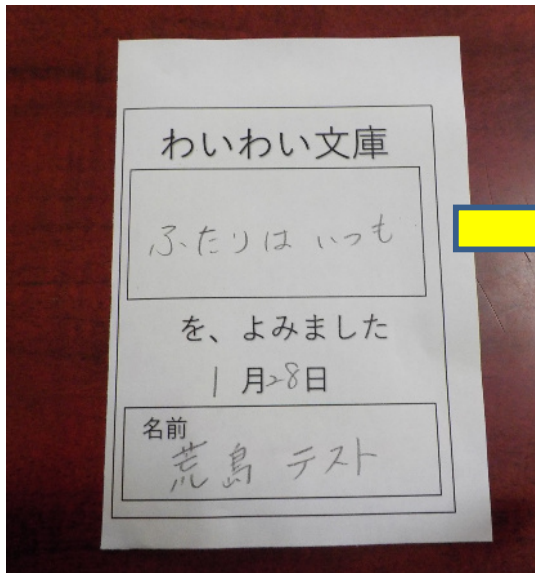
EPUB/DAISY ファイルをドラッグ&ドロップ
または
クリックして本をアップロードする

TOPNETで学校図書館にある本か 調べる

- 学校図書館に同じ本があれば、実物の本を使って貸出処理をする
- 学校図書館にない場合は、市内の他校や市立図書館で借りて貸し出し処理をする

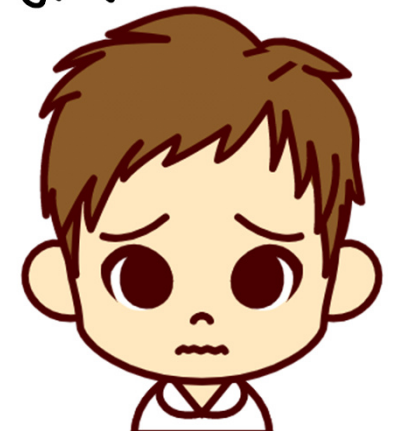


「よみました」カードを受け取り、返却処理をする



Bさんのこと 介入前

- ・ 知的障害特別支援学級在籍 2年生
- ・ 発語は少なく、独特の抑揚で話す
- ・ こだわりが強く、折り合うことが難しい
- ・ 恐竜や魚の図鑑が好きで、名前を覚えているものも大人に「これは？」と読んでもらいたがる
- ・ 文字の読み書きの学習には拒否的
- ・ なぞりがきはするが音につながっていない
- ・ 奇声を発したり机などを押して動かすことで不満を表す
- ・ 制止されると強く拒否反応を示す



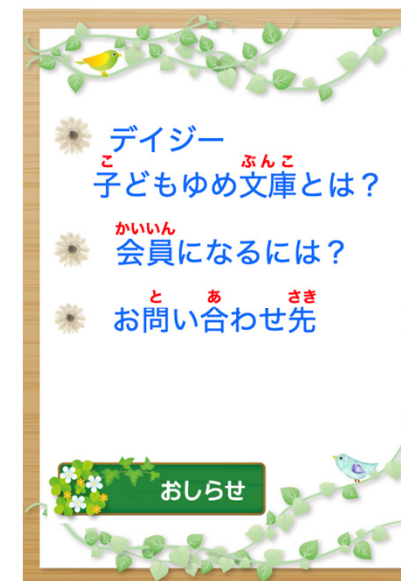
Bさんの変化には

- 読みたいものを選ぶ
- 自分の端末で自分のペースで読める
- 音があることで、内容がわかる
- 何度も繰り返し読むことで、読める文字が増えていく

豊かな読書環境が整備できたことが大きく関わっているのではないか



こども夢文庫も利用できるように



通常学級にいる読みの困難を持つ 子への貸し出しも開始

- 継続できるシステムになった
- わいわい文庫という方法があることの周知
 - 担任へ・・・職員研修の機会に
 - 子どもへ・・・ブルーディスクを使って
- 気づきの広がり

「**学びにくさのある子**」への
手立ての大切さ

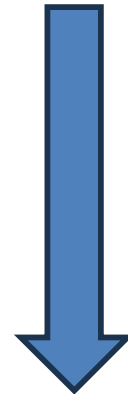
ある子の言葉

2年生まで通常級



3年から特別支援学級

・個別の場でついた力もあったが、「漢字」については意欲も定着も伸びなかった



4年からiPadを使用

・「自分で調べて解決」する体験がスタート



・6年生では通常学級に籍を戻し、算数のみ1学期だけ取り出し指導を行った。2学期からは全ての学習を通常学級で行った。



先生に教えてもらうのとiPadを使って調べるのとでは何が違うの？

うーん、あのね、先生に教えてもらうのは、井上先生が賢いってことでしょ？でもねiPadを使っているのは僕なんだ



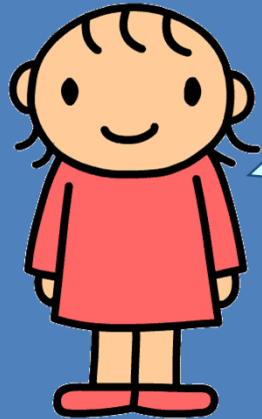
学びにくさがあっても、
「学習の主体」になることができる

長い訓練や大変な練習なしに
「今」「できる」を実感できる

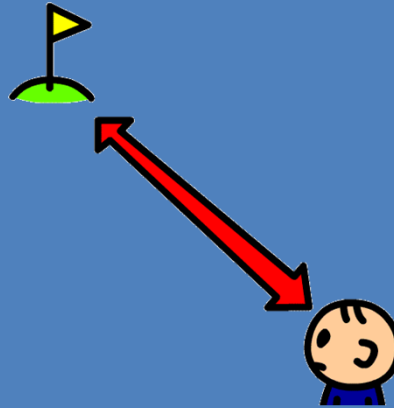
「自分でできる」が
次の意欲につながっていく

ICTという手立ては

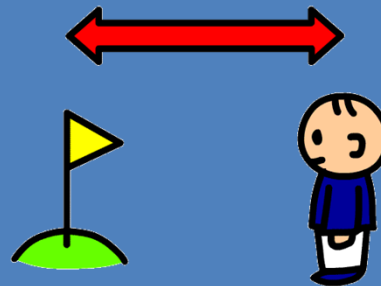
学びにくさを補い学習内容への
アクセスを支える



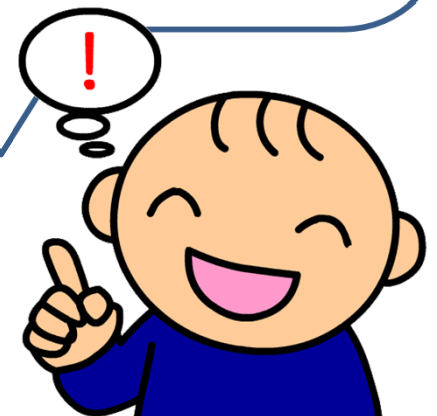
子どもを
変える(練習し
てスキルを
獲得させる)



使いやすい
手立てが選
べる



「近道をする」
というより「遠
回りをさせな
い」ために有効
そうすることで
学びのスタート
ラインに立てる
前提条件の負荷
が減ることで内
容に集中できる



2021年 みんなの実践障害児教育 6月号 「どうする？ どうなる？ 高校通級」

滋慶医療科学大学院大学
医療管理学研究科 准教授

岡 耕平 先生



ここであらためて強調したいのは、生徒は「有効な支援を得て初めて自分に支援が必要だったとわかる」ということだ

～6月号より～

学校は有効な支援に出会う場所



Kohei_Oka 73.60 @... · 1時間 ...

「現在の能力」が「過去の機会」の蓄積であるということはなかなか理解されにくい。読書バリアフリーの話は「どんな人でも機会を得られるような環境を」という話であって「何でもかんでも差別というな」「それまでの当事者作家の能力の問題では？」という批判は意図と文脈を読み違えてると思う。



「現在の能力」が「過去の機会」の蓄積であるということはなかなか理解されにくい。読書

市内の学校で情報を共有

安来市立荒島小学校図書館 ヤスギシリツアラシマショウ ガッコウトショカン	送信承認館
安来市立井尻小学校図書館 ヤスギシリツイジリショウガ ッコウトショカン	送信承認館
安来市立宇賀荘小学校図書館 ヤスギシリツウカショウショ ウガッコウトショカン	送信承認館
安来市立島田小学校図書館 ヤスギシリツシマタショウガ ッコウトショカン	送信承認館
安来市立社日小学校図書館 ヤスギシリツシャニチショウ ガッコウトショカン	送信承認館
安来市立南小学校図書館 ヤスギシリツミナミショウガ ッコウトショカン	送信承認館
安来市立母里小学校図書館 ヤスギシリツモリショウガ ッコウトショカン	送信承認館
安来市立山佐小学校図書館 ヤスギシリツヤマサショウガ ッコウトショカン	送信承認館

学校図書館が送信承認館に

・島根県の送信承認館16館のうち、8館が安来市の学校図書館

どの子も利用できる学校図書館を広げていきたい

終わりに

「国会図書館から貸し出さなくても、わいわい文庫のCDがあれば、そこからChattyBooksオンラインに送ればいいのでは？」と思われた方もおられると思います。

もちろん、それでも同じように貸し出しはできます。

しかし、**どんどん国会図書館からの貸し出しを利用することで、「このサービスを必要としている子がたくさんいる」ことを示していくことが、読書バリアフリーの広がりにつながると考えています。**

学校図書館で親しんだ読書の方法や本へのアクセスの手立ては、大人になっても公共図書館で利用できるものです。それは、紙の本では読むことの困難が大きな子たちにとっても同じだと思います。生涯にわたって読書を楽しんでいくために、学校図書館のバリアフリー化を今後も進めていきたいです。

井上賞子 note

- アプリやツールの紹介を挙げてます。(漫画の紹介の方が多いですが(;^_^A)
- どんな場面や対象にどう使ったかも書いていますので、良かったら覗いてください

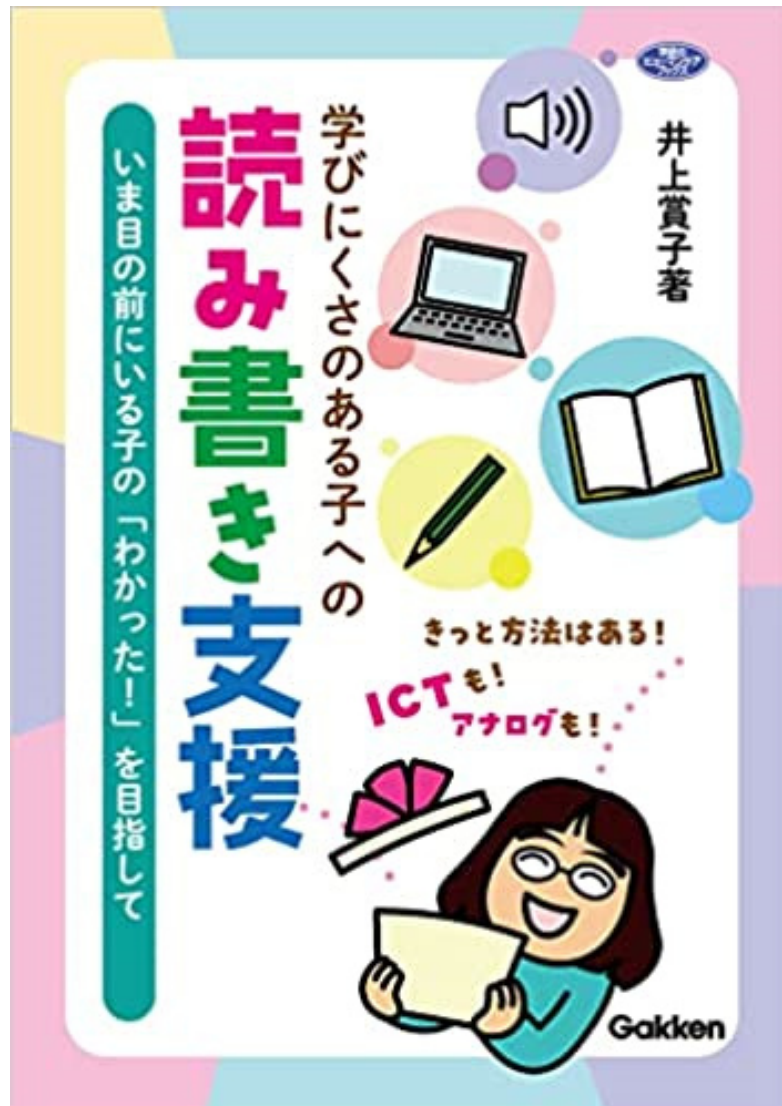
井上賞子 note



A screenshot of the 'note' app interface showing a user profile. The profile header includes the 'note' logo, search, notification, and user icons, and an '投稿' (Post) button. Below this is a colorful abstract banner with various geometric shapes and colors. The user's name '井上賞子' is displayed, along with a small profile picture icon and a '設定' (Settings) button. The bio reads: 'まんがに日々癒されて半世紀近く(^o^;)好きなまんがの紹介と、子ども達が学習する時に役立つアプリの紹介をのんびりしていきます^_^'. At the bottom, it shows '4 フォロー 28 フォロワー' and a RSS icon.

学びにくさのある子への読み書き支援

-いま目の前にいる子の「わかった!」を目指して-



読者から見て、どの姿から仮説を立てて、どんな手立て、試みたかについて、事例を通しながらまとめられています。

引き継ぎのリアルや、ノートテイク導入のプロセスなど、連載時には書けなかった話題も加筆しています。

(^▽^)

みんなの実践特別支援教育(学研)



学習場面で基礎的な問題ほど、教えにくいと感じたことはありませんか?
でも、支援方法は一つじゃないはず。クラスにいる子どもの姿を想像して一緒に考えてみましょう。

青木高光先生と対談形式で連載しました
(*^○^*)

2022年度の各号に掲載されています。
電子書籍でお読みいただけます(￣▽￣)

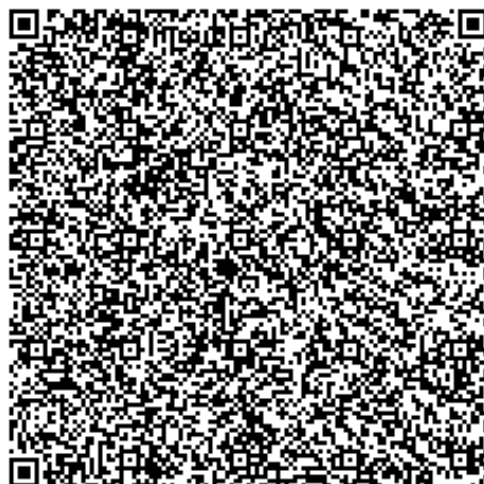
成人の声に耳を傾けてください



読めなくても書けなくても勉強したい



夢見た自分をとりのどす



小金井小学校 ICT部会

